

ミニメド™780Gインスリンポンプ はじめてみよう! リアルタイムCGM*

*CGM:持続グルコースモニタ



リアルタイムCGM 入門ナビ



重要!
チェック

重要ポイントがわかりやすい!
チェックしながら進めよう!

使用開始時に必要な知識、基本操作を簡易的にまとめたマニュアルです。
必ず電子添文とユーザガイドを併せてご確認ください。



日本メドトロニックウェブサイト：
www.medtronic.com/minimed780g

・製品の使用方法やよくある質問
などをご紹介しています。



リアルタイムCGMとは

リアルタイムCGM*とは

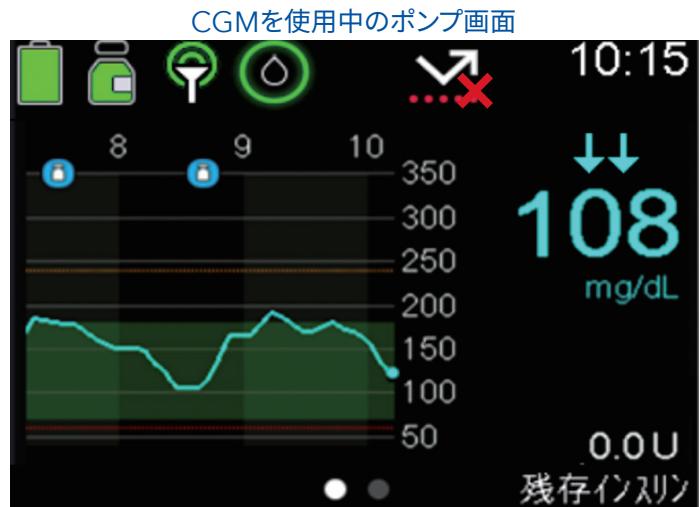
*リアルタイムCGM:以下、CGMと表示

重要! チェック インスリンポンプ**の画面に、「**血糖値に近いセンサグルコース値**」をリアルタイムに表示し、グラフや値などで、血糖の変動傾向を確認することができる測定機能です。 **インスリンポンプ(以下、ポンプ)
※リアルタイムCGMを用いた使用方法には、マニュアルモードとスマートガードモード(インスリンの自動調整機能:オートモード)があります。スマートガードについては、『はじめてみよう! ハイブリッドクローズドループ』をご参照ください。



ミニメド™モバイルアプリを使用すれば、スマホでもCGMデータやアラームを確認を確認できます。

更に、ケアリング™コネクトアプリは家族などのケアパートナーにCGMデータやアラームをリアルタイムに共有できます。
詳細は「クイックリファレンスガイド」をご参照ください。



※この画面はマニュアルモードです。(スマートガードはオフ)

重要! チェック ポンプに表示されるセンサグルコース値は、間質液中のグルコース濃度を測ったものであり、実測血糖値との間に時差があります。センサグルコース値による治療判断は可能ですが、センサグルコース値が疑わしい場合には、血糖自己測定を行ってください。

CGMはどのように測定しているか

CGMはどのように測定しているか

* グルコース＝糖

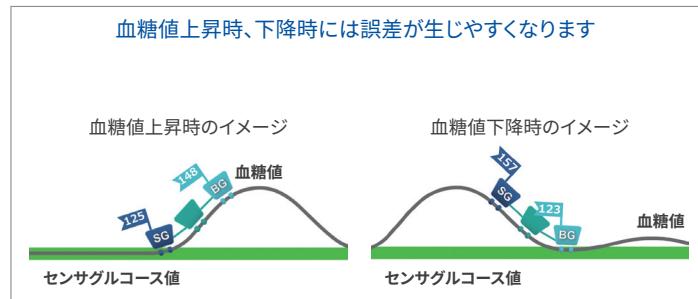
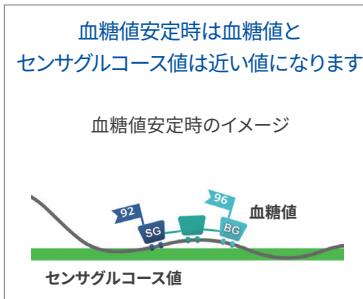
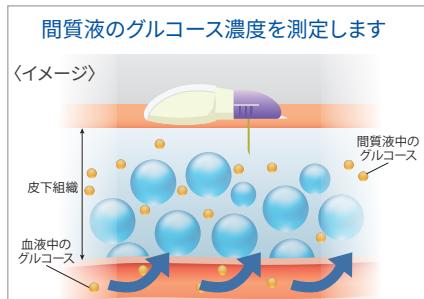
重要！ CGMのセンサは、血糖値より少し遅れて上がり下がりする「間質液のグルコース*濃度」を測っています。

較正（間質液で測定した値を血糖値に近づけるために、実測血糖値を入力すること）を行うことも可能ですが、較正を行わなくても血糖値に近いセンサグルコース値は表示されます。

センサグルコース値に異常がある場合や低血糖や高血糖症状がある場合は、血糖自己測定を実施し、血糖値に基づき判断、治療調整をしてください。（特にセンサ装着初日は差異が生じやすいのでご注意ください。）

以下のような場面では、指先による血糖自己測定で血糖値を確認してください。

- ・アセトアミノフェン（パラセタモール）を用いた解熱剤や風邪薬を服用した場合
- ・センサグルコース値が疑わしい場合
- ・センサグルコース値と自覚症状が異なる場合
- ・血糖値入力が必要なアラートが発生した場合
- ・マニュアルモードで補正ボーラスを注入する前やボーラスウィザードを使用する場合
- ・マニュアルモードにおける自動車などの運転前、就寝前



リアルタイムCGMをはじめるために

基礎編：
はじめてみよう！
リアルタイムCGM

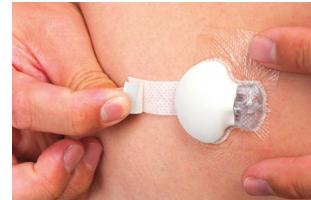
P.1
CGMをはじめるための基礎知識



P.4～6 機器の概要・事前準備



P.7～18 センサ装着方法
(7日に1度行います)



P.19～20 較正方法



P.21 センサ交換のタイミング

センサ期限切れ
00:00
新しいセンサと交換してください。

P.22～26 Q&A



P.27 成功のカギ

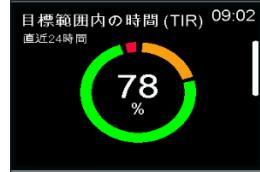


応用編：
もっと便利に！
リアルタイムCGM
を使いこなそう

P.28～31 センサによる
一時停止機能



P.32 TIRチャレンジ



P.33～35 重要な注意事項と
サービス登録



機器の概要・事前準備

CGMと付属品

※780Gにはガーディアン4トランシッタ、ガーディアン4センサのみが使用できます。



ワンプレスサーダ
(穿刺補助器具)



ガーディアン4センサ



ガーディアン4と記載されていることを必ずご確認ください

重要!
チェック

- Guardian 4
- MMT-7040

必ずトランシッタの表面が無地であることをご確認ください

重要!
チェック



トランシッタ充電器



テストプラグ

○ ガーディアン4
トランシッタ



ガーディアンリンク
3トランシッタ



機器	説明
ガーディアン4センサ	ガーディアン4センサ(以下、センサ)は皮下のグルコース値を測定します。
ガーディアン4トランシッタ	ガーディアン4トランシッタ(以下、トランシッタ)がセンサに接続されると、お使いのポンプにセンサグルコース値を送信します。
ワンプレスサーダ	ワンプレスサーダ(以下、サーダ)はセンサを装着するために使用します。
トランシッタ充電器	トランシッタの充電を行います。単4電池1個で稼動します。
テストプラグ	トランシッタの作動確認および洗浄時に使用します。

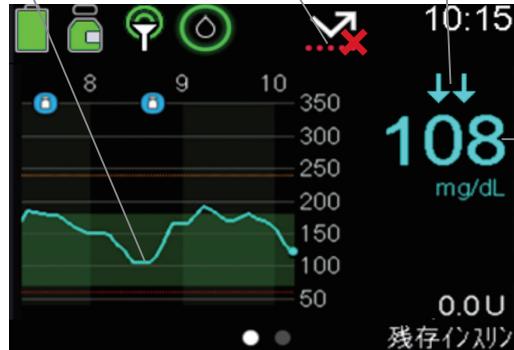
装着イメージ、交換頻度、通信距離



機器の概要・事前準備

ホーム画面

直近3時間のグラフ センサによる一時停止アイコン
トレンドを示す矢印



※この画面はマニュアルモードです。(スマートガードはオフ)

センサグルコース値
(40~400mg/dLを表示可)



過去3、6、12、24時間の
センサグラフが確認でき
ます。カーソルを左右に移動
し、センサグルコース値や
ボーラスの注入状況など
も閲覧可能です。

カーソル

センサアイコンの種類

種類	センサアイコン
接続	
較正までの時間	
センサによる一時停止アイコン	有効 無効
センサ寿命	

センサ寿命アイコンはホーム画面
に表示されません。
ステータス画面に表示されます。



センサグルコース値を表示して
いる時は緑、システムが血糖値を
必要としている場合は赤を表示。

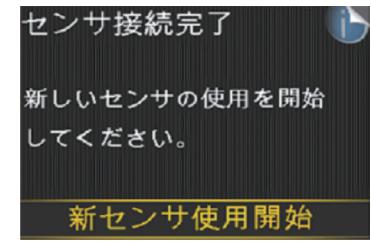
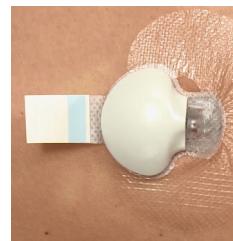
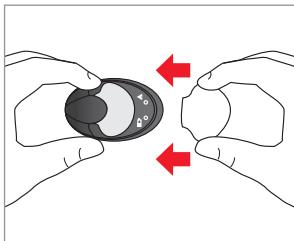
トレンドを示す矢印

- ↑ または ↓ センサグルコース値が1分あたり1mg/dL以上2mg/dL未満の速度で上昇または低下した場合
- ↑↑ または ↓↓ センサグルコース値が1分あたり2mg/dL以上3mg/dL未満の速度で上昇または低下した場合
- ↑↑↑ または ↓↓↓ センサグルコース値が1分あたり3mg/dL以上の速度で上昇または低下した場合

センサ装着方法の流れ

トランスミッタ
充電センサ機能
オン

センサの装着

トランスミッタ
接続新センサ
使用開始

センサ装着の準備物



トランスミッタ



センサ



サーダ



充電器



アルコール綿

※初めてトランスミッタを使用するときは、ポンプとトランスミッタをペアリングさせる必要があります。

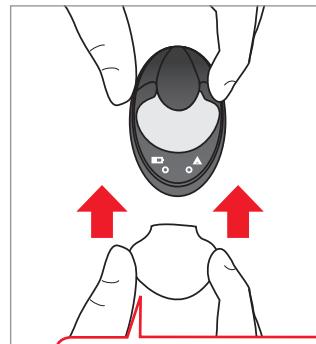
P.10「機器のペアリング」を参照の上、設定してください。

トランスミッタの充電



トランスミッタを充電する

センサ交換の際、必ず毎回トランスミッタを充電してください。
充電中は充電器の緑のライトが点滅し、完全に充電されると消灯します。



接続部分の損傷を避けるため
絶対にねじらないように気を付ける。

電池残量がなくなったトランスミッタの充電には
最大2時間かかることがあります。

充電器の電池は
単4アルカリ乾電池を使用する。



重要!
チェック

赤のライトの点滅は
充電器の電池残量
低下を示す。

完全に充電されると
緑のライトが消灯する。

センサの使用を一時的に中断したいとき

トランスミッタを使用しない期間がある場合は、トランスミッタの内蔵電池の劣化を防ぐため60日に一度は充電を行ってください。

センサ機能 オン



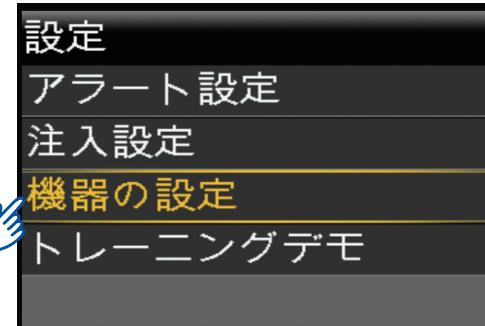
ポンプを操作し、センサ機能を「オン」にする

CGM機能を使用するためにはポンプのセンサ機能を「オン」にする必要があります。
CGM機能を使用しない場合はセンサ機能を「オフ」にします。

- 1 メニューで「設定」を選択



- 2 「機器の設定」を選択



- 3 「センサ」で○を押し「オン」にする



機器のペアリング

インスリンポンプにトランスマッタを認識(接続)させる方法

以下の手順へ移る前にまずトランスマッタを充電器にセットしてください。

- 1 メニューで「ペアリングされた機器」を選択

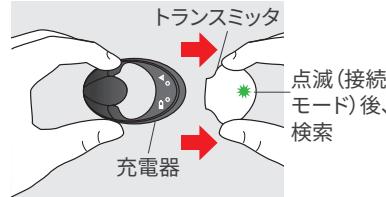


- 2

トランスマッタを充電器から引き抜き、「新しい機器のペアリング」を選択する



重要!
チェック

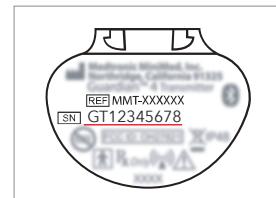


- 3 検索中です
しばらくお待ちください



- 4

表示された新機器のシリアル番号がトランスマッタの裏面の
シリアル番号と一致していることを確認し、「確認」を選択する



- 5 この表示が出れば接続成功



センサの装着



センサを装着する前に、事前にサーチャーの操作方法を練習をしておきましょう。

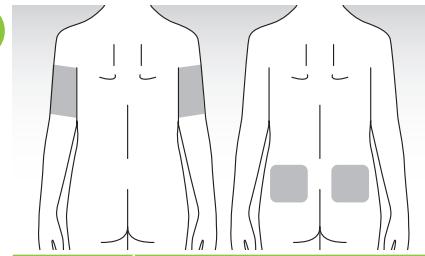
手をしっかり洗う

1



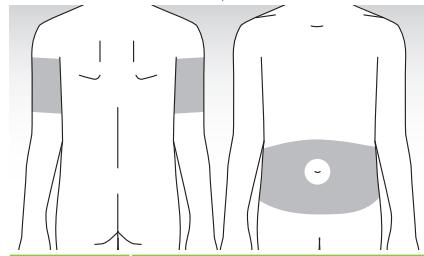
適切な装着部位を選択する

2



年齢	装着部位
2~17歳	上腕背面および臀部上部

年齢2~17歳の腹部への装着は
精度が評価されていません。

重要!
チェック

年齢	装着部位
18歳以上	上腕背面および腹部

年齢18歳以上の臀部上部への装着は
精度が評価されていません。

装着部位の注意点

- センサは**7日**に1度交換しましょう。
- 装着部位は必ず**ローテーション**を行いましょう。
- 十分に皮下脂肪がある部位に装着しましょう。

装着を避ける部位

- 皮下にしこりがある(かたくなった)部位
- インスリン注入部位から2.5cm以内の部位
- 締め付けられる部位
- 激しく動くことの多い部位
- 屈曲部位(座った時に入るお腹のシワの部位など)
- 前回の部位から2.5cm以内の部位
- ヘその周囲5.0cm以内の部位

重要!
チェック

次ページへ続く

センサの装着

トランスマッタ充電 センサ機能オン センサの装着 トランスマッタ接続 新センサ使用開始

アルコール消毒する

3



センサを取り出す

4



ガーディアン4センサであることを確認する。

5



センサを触らないよう、台座を持つ。

センサ装着方法

粘着タブを確認する

6



粘着タブがセンサコネクタとスナップに乗っていると⑩で装着ができません

サーダの正しい持ち方

7



親指を指紋マークの上に置いてサーダを持つ。

ボタンを触らない。

次ページへ続く

センサの装着



センサを平らな台に置き、サーダをセンサに押し込む

8a



重要! チェック

必ず平らな台の上で!

8b



重要! チェック

ボタンは押さない。

重要! チェック

一気に下まで! 途中で上げない!

サーダを引き上げて、センサから取り外す

9a



プラスチックの台座の両端を押さえて!

9b



重要! チェック

まっすぐ上にゆっくりと引き上げる。

重要! チェック

ボタンは押さない。

センサの装着

トランスマッタ充電 センサ機能オン センサの装着 トランスマッタ接続 新センサ使用開始

皮膚に密着させる

10a



指紋マークに親指を置く。

重要!
チェック

サーダを皮膚に押しつけ過ぎない。

重要!
チェック

5秒待つ

10d



指を離したまま5秒待つ。

10e



サーダの両サイドのボタンを同時に押す。

10c



指を離す。

ボタンを押す

10b



サーダを引き上げる

重要!
チェック

ボタンは押さない。

重要!
チェック

まっすぐゆっくりと真上に引き上げる。

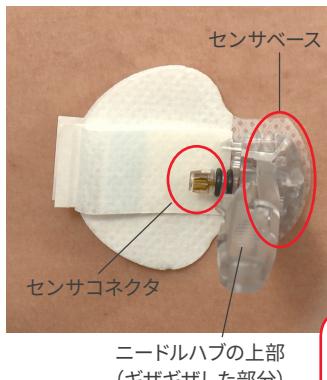
次ページへ続く

センサの装着

トランスマッタ充電 センサ機能オン センサの装着 トランスマッタ接続 新センサ使用開始

ニードルハブを抜く

11a

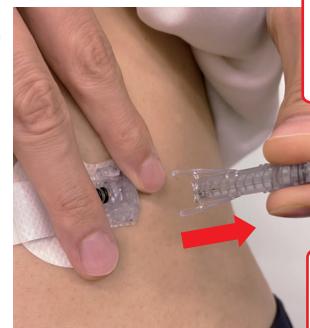


センサベース
センサコネクタ
ニードルハブの上部
(ギザギザした部分)



センサが抜けないよう、
センサコネクタと
センサベースを押さえる

11b



重要!
チェック

ニードルハブの
上部(ギザギザした
部分)を持って!

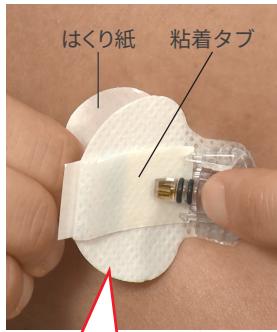
重要!
チェック

もう片方の手で
まっすぐ真上に
ゆっくり引き上げる。
ねじらない。

重要!
チェック

はくり紙をはがす

12a



はくり紙 粘着タブ

密着させる

12b



重要!
チェック

センサが抜けないよう、
しっかり押さえる。

粘着タブを引き出す

13a



粘着タブ

粘着タブを伸ばす

13b



粘着タブ

トランスミッタを接続する

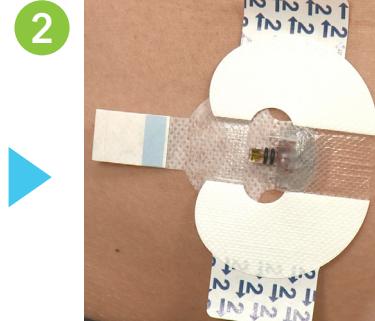
トランスミッタ充電 センサ機能オン センサの装着 トランスミッタ接続 新センサ使用開始

オーバルテープの貼付

1のはくり紙をはがす



貼る



重要! チェック
できる限りテープにシワができるないように。テープをひっぱり過ぎて皮膚に負荷がかからないように丁寧に!

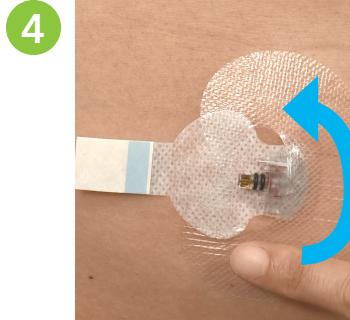
テープの幅広い部分(青枠)がセンサベースの半分を覆う。

2のはくり紙をはがす



両側から「2」のはくり紙をはがす。

密着させる



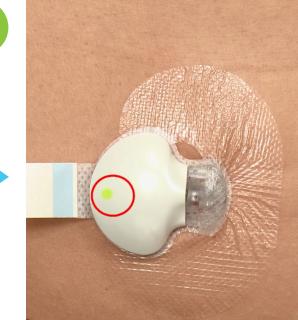
充電したトランスミッタを接続する



重要! チェック

- ・センサの頭頂部を押さえる。
- ・カチッという音を確認。
- ・使用するトランスミッタが表面が無地のガーディアン4トランスミッタであるか確認する

点滅を確認する



トランスミッタを接続する

トランスミッタ充電 センサ機能オン センサの装着 トランスミッタ接続 新センサ使用開始

粘着タブで固定する

6



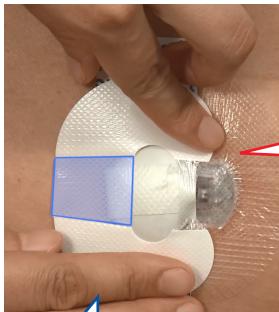
2枚目の1のはくり紙をはがす

7



2枚目のテープを貼る

8



重要!
チェック

幅広い部分の向きを、
1枚目とは逆にして貼る。

巻き込み過ぎて、
トランスミッタが持ち上がり
ないように注意!

重要!
チェック

トランスミッタの端と皮膚
の両方を覆うように貼る。

2枚目の2のはくり紙をはがす

9



密着させる

10



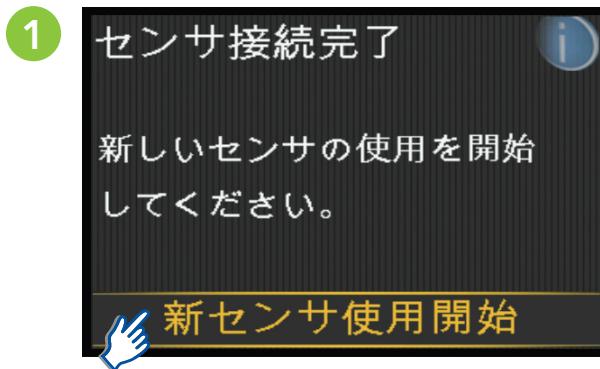
新センサ使用開始

トランスマッタ充電 センサ機能オン センサの装着 トランスマッタ接続 新センサ使用開始

新センサの使用を開始する

装着したセンサにトランスマッタを接続すると、ポンプとトランスマッタが交信を開始し、ポンプに次の画面が表示されます。このプロセスにかかる時間は通常1分未満ですが、最長10分かかる場合があります。

「新センサ使用開始」を選択する



準備の2時間が経過すると、センサグルコース値が表示されはじめます。



較正方法

較正方法のポイント

- 定期的な較正は必要ありません。較正を行わなくても、センサグルコース値は表示されます。
- 入力された血糖値はすべて較正に使用されます。

センサグルコース値の精度を落とさないために適切な方法で較正を行いましょう

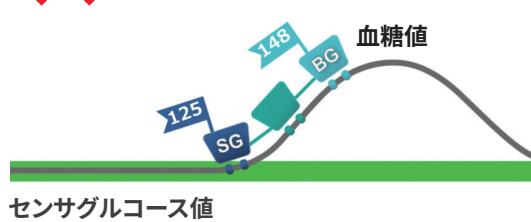


血糖変動の激しい下記のような時間帯は較正を行わないでください。

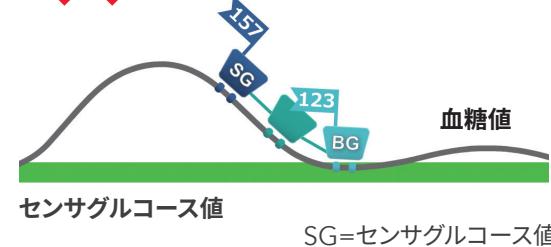
- トレンド矢印が2本以上出ている時
- ・食事中や食事後
- ・激しい運動中や運動後
- ・インスリン投与後



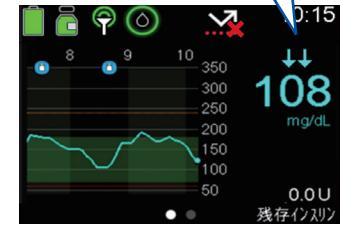
血糖値上昇時のイメージ



血糖値下降時のイメージ



トレンド矢印が
2本以上出ている時は
較正を行わない



※この画面はマニュアルモード
です。(スマートガードはオフ)



血糖自己測定は正しい方法で行ってください。

- 測定部位
- ・清潔、消毒
- ・チップの有効期限 など



血糖値は速やかにポンプに入力してください。



較正のボタン操作

ポンプに入力された血糖値はすべて較正に使用されます。ポンプに血糖値を入力する際は、適切な方法で較正を行いましょう。

メニューの「血糖値入力」から較正する

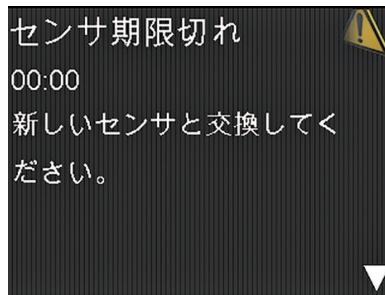


センサ交換のタイミング

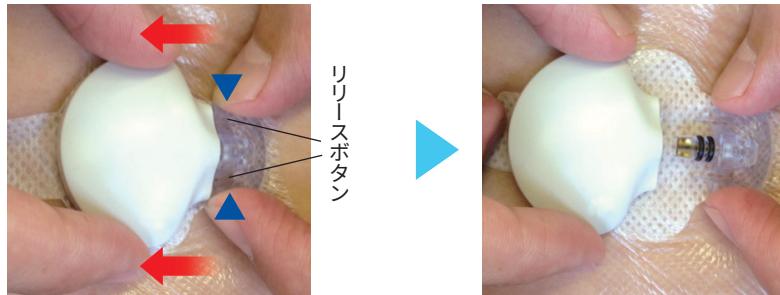
7 6 5 4 3 2 1 残り12時間以内

センサの使用期限が切れるタイミング

7日間のセンサの使用期限
が切れると、下記のアラート
が発生します。



リリースボタンを「両側から押し込みながら」トランスマッタ
をセンサから取り外し、センサをテープと一緒にはがします。
トランスマッタは充電します。(充電手順は8ページへ)



※センサのパッケージに記載されている使用期限までに、7日間のセンサの使用を終えてください。

新センサの使用を開始するタイミング



新センサの使用を開始する際は、うまく装着できるよう時間に余裕のあるタイミングで行いましょう。

Q & A

Q. お風呂の時はどのようにすればいいですか？

A. トランスミッタは防水ですので装着したまま入浴頂けます。入浴などで一時的にポンプとトランスミッタが通信できない場合は、トランスミッタ内にデータを取りため、通信再開時にデータをまとめて送信します。通信できない時間が30分以上続くと、ポンプはアラートを発生させます。



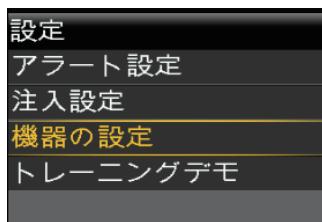
30分以上の通信不可は
アラートが発生します

センサ信号中断 
12:00 AM
ポンプをトランスミッタに
近づけてください。信号を
受信するまで15分程度かか
ることがあります。 ▼

Q & A

Q. CGM機能をやめてポンプだけにしたいのですが…

A. センサを体から取り外し、下記のボタン操作で機能をオフにします。

- 1 メニューから「設定」を選択
- 2 「機器の設定」を選択する
- 3 「センサ」で○を押し「オフ」にする

Q. トランスマッタを洗浄してもいいですか？

A. トランスマッタに残った粘着剤をとるには、医療用粘着剤リムーバーが有効です。トランスマッタを洗浄する際は、テストプラグを必ずつけてください。

トランスマッタの接続部に水などが入ると故障します。



Q & A

Q. X線検査、CT検査、MRI検査はそのまま受けて大丈夫ですか？

A. X線や電磁波を用いる検査の際は、トランスミッタ、センサ、ポンプを必ず取り外してください。

Q. 飛行機に乗る場合はCGMは使用できないですか？

A. 本製品はBluetoothを使用し、ポンプとトランスミッタは通信を行っています。ほとんどの飛行機で、機内でもインスリンポンプおよびトランスミッタをご使用いただくことができます。Bluetoothの接続について、航空会社のガイドanceに従ってください。



- ・インスリンポンプやトランスミッタを装着して搭乗する旨を、事前に航空会社にご連絡ください。
- ・空港の保安検査場では、X線検査にポンプ、トランスミッタ、センサを通さないでください。ゲート型の金属探知機検査は問題ありませんが、ボディースキャナー検査を受ける場合は、検査前にポンプ、トランスミッタ、センサを体から取り外す必要があります。
- ・他のインスリン注射手段を必ず携帯してください。

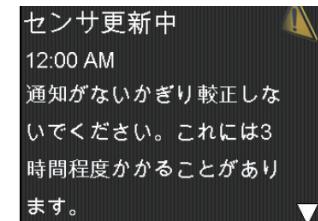
Q & A

Q & A

Q. 「センサ更新中」アラートが発生したのですが…



A. 「センサ更新中」は、センサに問題がある場合や、トランスミッタとセンサの接続に問題がある場合、またはセンサに抜けがある場合に発生します。**発生した場合は、ポンプにセンサグルコース値が表示されるまで待つか、「要血糖値の入力」が表示されるまで血糖値を入力せずに待ちください。**センサの損傷や抜けが原因である場合は、「要センサ交換」アラートが発生する場合があります。3時間以上経っても「センサ更新中」の場合や同じセンサで繰り返し発生する場合は、センサを交換してください。



Q & A

Q. よく起こりうるアラート・アラームを一覧で教えてください

アラートの種類	説明と対応	アラートの種類	説明と対応
センサ期限切れ  00:00 新しいセンサと交換してください。	センサの最長使用期限(7日間)が経過しました。新しいセンサと交換してください。	較正許容範囲外  00:00 再度血糖を測定し、センサの較正を行ってください。 スヌーズ 0.30 hr	較正を行いましたが、センサグルコース値と血糖値との差異が大きく較正できません。15分以上時間をおき、血糖値が安定しているか確認の上、必ず血糖自己測定をし直し、再度較正を行ってください。
センサ信号中断  12:00 AM ポンプをトランスマッタに近づけてください。信号を受信するまで15分程度かかることがあります。	ポンプとトランスマッタの交信が30分間中断しています。ポンプとトランスマッタを近づけてください。	要センサ交換  00:00 2回目の較正も、許容範囲外です。新しいセンサと交換してください。	上記の較正許容範囲外アラートが2回連続で発生した場合に発生するアラートです。新センサに交換してください。
高センサグルコース  12:00 AM グルコースが3時間以上にわたって250 mg/dL以上です。注入セットをチェックしてください。	グルコース値が250mg/dL以上の状態が3時間を超えました。血糖を測定し、必要であれば治療を行ってください。 * アラート消音機能を使用しても消音にできません。	低グルコース  50mg/dL 00:00 センサグルコース値が54 mg/dL未満です。血糖自己測定を行い、治療を行ってください。	センサグルコース値が54mg/dL未満です。または54mg/dLを下回りました。血糖自己測定を行い、主治医の指示に従い低血糖に対処してください。 * アラート消音機能を使用しても消音にできません。

* アラート消音機能についてはP31をご確認ください。

より良い血糖コントロールを目指して

リアルタイムCGM、成功のカギ

センサ装着の手技、装着部位の選択はとても重要です

「重要チェック」を確認しながら正しくセンサを装着しましょう。(装着はP.7~18へ)

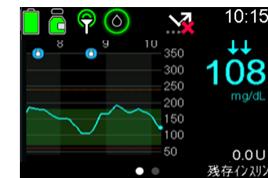
正しい手技が、「安定した測定」と「センサを無駄にしないため」のポイントです。

センサ装着部位の選択も大変重要です。



まずはセンサグルコース値の動きを確認することからはじめましょう

食事、インスリンの投与、活動などがどのようにセンサグルコース値に影響するか、トレンド矢印やグラフの動きを確認し理解しましょう。また、高・低グルコースへの過剰な対処は避けましょう。毎月の受診で、対応方法を主治医に相談しましょう。



※この画面はマニュアルモードです。(スマートガードはオフ)

少しずつカーボカウントとポンプの機能を使いこなしましょう

CGMが自動的に血糖マネジメントを改善してくれるわけではありません。

センサ装着をしっかりマスターし、得られた情報をうまく使いこなすことが大切です。

自分の血糖変動を理解し、少しずつカーボカウントやポンプ機能を使いこなしていきましょう。



ホースワイヤー		09:04
血糖	135 mg/dL	0.6 U
動糖質	35 g	2.3 U
調整	—	0.0 U
ホース	—	2.9 U
ボーラス注入		

センサによる一時停止機能



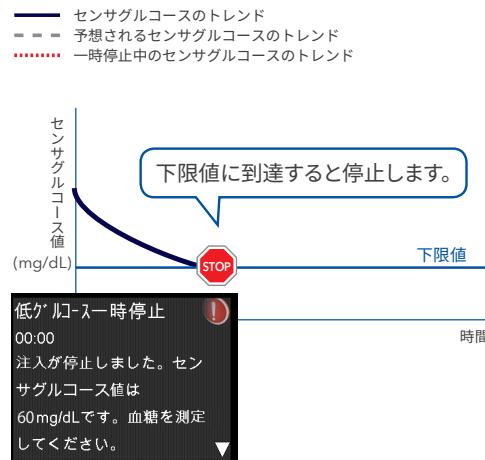
低グルコース一時停止機能と低グルコース前一時停止機能とは

低グルコース一時停止と低グルコース前一時停止の2種は、低血糖の低減を目的とした機能です。予め設定した下限値を基準に、インスリンの注入を一時停止します。(スマートガード機能は別冊の「はじめてみよう!ハイブリッドクローズドループ」をご参照ください)

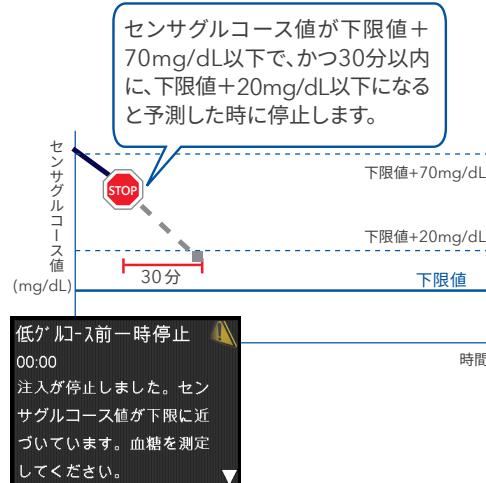
- ① 低グルコース一時停止：センサグルコース値が下限値に到達するとインスリン注入を一時停止します。
- ② 低グルコース前一時停止：センサグルコース値が下限値に近づくとインスリン注入を一時停止します。

注入停止後、センサグルコース値が回復すると、自動的に基礎インスリン注入を再開します。またセンサグルコース値が回復しない場合も2時間が経過すると自動的に注入再開するシステムとなっており、いつでも手動で注入再開させることもできます。設定内容と対処方法を、主治医とよく相談し使用しましょう。

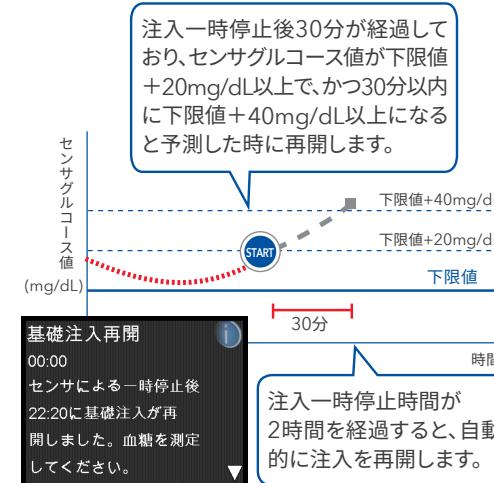
低グルコース一時停止



低グルコース前一時停止



基礎注入再開

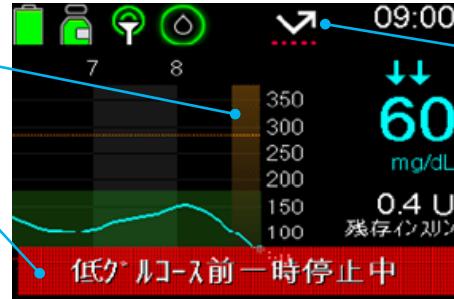


もっと便利に！CGMを使いこなそう

センサによる一時停止機能

低グルコース(前)一時停止機能 作動中のホーム画面

注入一時停止した時間帯はオレンジ色で表示されます。
「低グルコース前一時停止中」または「低グルコース一時停止中」と表示されます。
一時停止中は、ボーラス注入やインスリンの設定変更は行えません。ここで選択ボタンを押すと、手動再開のメニューが開きます。

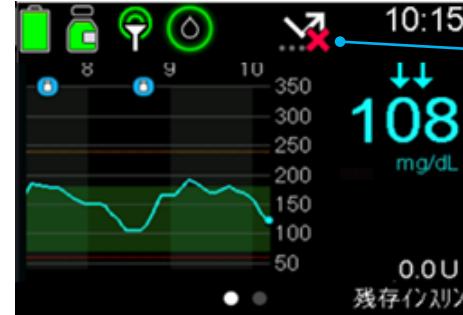
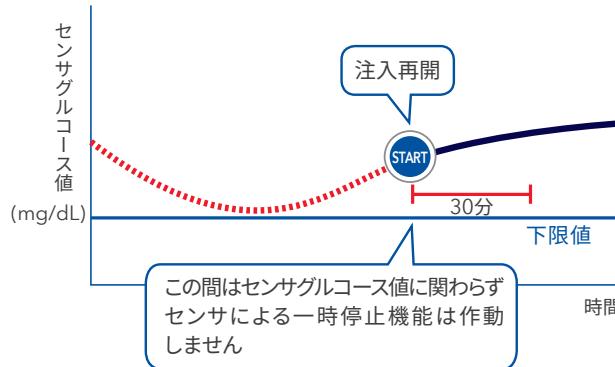


センサによる一時停止アイコン
センサによる一時停止がスタンバイ状態のときは、点灯で表示され、注入一時停止中は点滅します。

※この画面はマニュアルモードです。(スマートガードはオフ)

センサによる一時停止機能が無効な時間帯

注入再開から30分間はセンサによる一時停止機能は機能しません。また、下限値に達した際の「低グルコースアラート」と2時間経過後の「注入再開アラート」の両方に対応しない場合、注入再開から最大4時間センサによる一時停止機能は機能しません。センサグルコース値が測定できない場合も同様に機能しません。



センサによる一時停止アイコン
無効な時間帯は、ばつ印で表示されます。

※この画面はマニュアルモードです。(スマートガードはオフ)

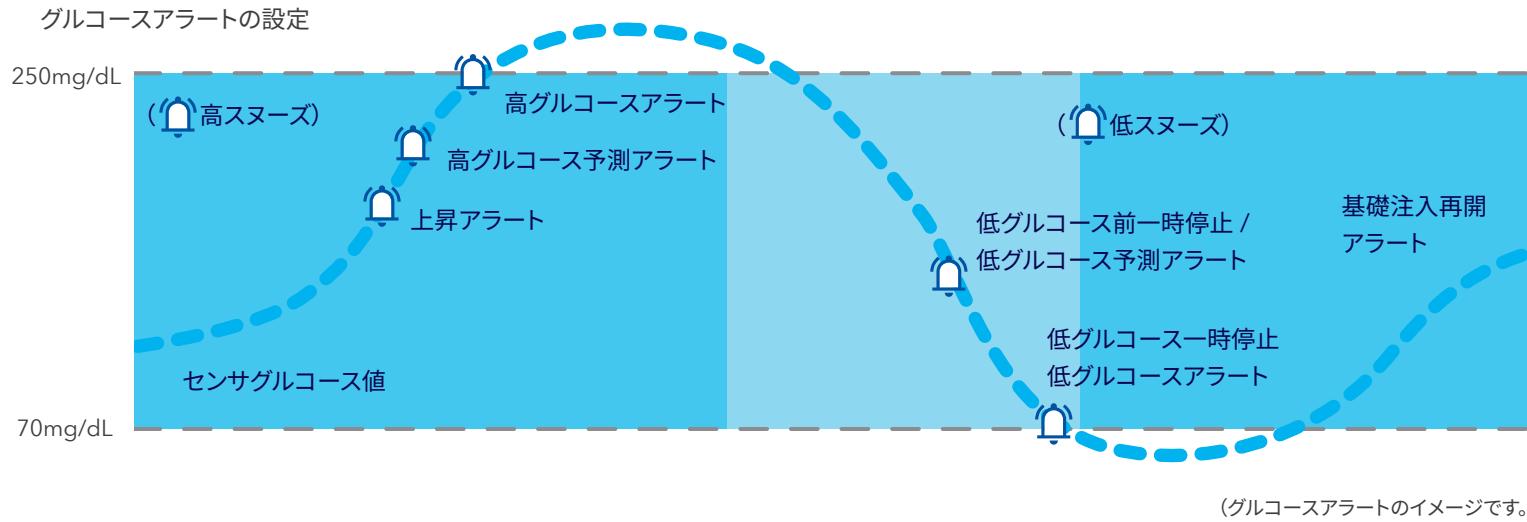
グルコースアラート

グルコースアラート

グルコースアラートとは、センサグルコース値の変動状況をリアルタイムにアラート通知してくれる機能です。センサグルコース値が上限値や下限値に到達したときや近づいたとき、上昇速度が速いときなどにアラートで通知するよう設定でき、センサによる一時停止機能と共に設定することもできます。(グルコースアラートのみ使用することもできます)

グルコースアラートの種類

重要!
チェック 設定数が多くなりすぎたり、設定値が自分にあわない場合、生活の質を下げてしまう場合があります。
自分にあった設定内容と対処方法をよく主治医と相談し使用しましょう。

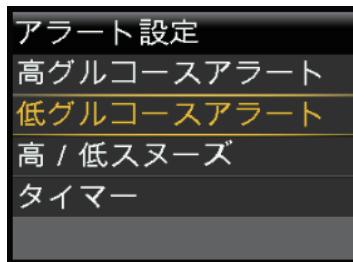


センサによる一時停止機能、グルコースアラート 設定方法

設定方法(例)

※ 例は『低グルコース前一時停止』を設定する場合の画面です(グルコースアラートも同様の手順で設定できます)

メニュー → 設定 → アラートの設定



「低グルコース設定」、「高グルコース設定」は、それぞれのメニューより設定できます。



下限値(高グルコース設定の場合は上限値)は時間帯ごとに設定できます。(8設定まで可)



設定した時間帯に使用するセンサによる一時停止機能やグルコースアラートを設定します。



時間帯や閾値の設定を確認した上で、「完了」を選択し、設定を保存します。

オフにできないアラート

	低グルコース前一時停止オン	低グルコース一時停止オン	低グルコース前一時停止オフ 低グルコース一時停止オフ
低グルコース予測アラート	オン/オフ	オン/オフ	オン/オフ
低グルコースアラート	オン	オン	オン/オフ
注入再開アラート	オン/オフ*	オン/オフ*	-

黄色 = オフにできません

* 注入一時停止の最大時間2時間を経過した際の「注入再開アラート」はオフにできません

※アラート消音機能は、一定期間センサアラートを消音します。発生したアラートは画面に表示されますが、音や振動は発生しません。

ただし、アラート消音機能を使っても、「スマートガード終了アラート」、グルコース値が250mg/dL以上の状態が3時間を超えた場合に発生する「高センサグルコースアラート」、グルコース値が54mg/dL未満になった場合の「低グルコースアラーム」は消音されません。

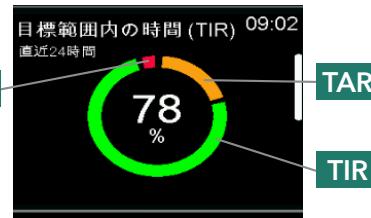
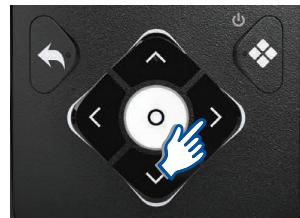
センサグルコース履歴の活用方法



TAR、TIR、TBRとは

センサグルコース値が24時間平均で何%が上限値より高かったかを示すTAR(Time above Range)、何%の時間が範囲内にあったかを示すTIR(Time in Range)、何%の時間が下限値より低かったかを示すTBR(Time below Range)があります。ミニメド™770Gインスリンポンプでは、履歴より、TIR、TAR、TBRをいつでも確認することができます。

ホーム画面で右ボタン(>)を押す



設定と目標値

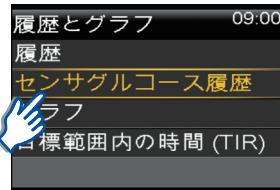
設定と目標値は、必ず主治医と相談し、決定しましょう。

設定	上限値	mg/dL
	下限値	
目標	平均算出の日数	日
	TAR (上限値より高い)	%
	TIR (範囲内)	%
	TBR (下限値より低い)	%

下へスクロール



確認方法



主治医と相談した上限値、下限値を設定し、平均算出の日数を確認したい日数に合せ、「次へ」を選択。



1日のみが入力された場合



複数日が入力された場合



ケアリンク™ レポートでもTIR等が確認できます。

リアルタイムCGM使用時の重要な注意事項



1. センサグルコース値は間質液を測定しているため、血糖値とは時差が発生します。センサグルコース値が疑わしいと思われる場合などには、血糖自己測定を行ってください。P. 2をご参照ください。
2. 入力された血糖値はすべて較正に使用されます。血糖値の入力は、血糖変動が安定しているとき(P. 19 較正方法のポイントを参照)に実施してください。
3. ポンプとリアルタイムCGMは精密器械です。取り扱いには十分ご注意ください。(落下や衝撃を与えないよう注意し、高温・多湿などの環境下で保管しないでください。)
4. X線装置、MRI装置、CTスキャン装置またはジアテルミー装置が設置された検査室に入る前に、ポンプ、センサ、トランスマッタ、および血糖自己測定器を必ず取り外してください。
5. 携帯電話やワイヤレスネットワークなど高周波を使用する機器を使用している場合は、ポンプとトランスマッタ間の通信が干渉を受けることがあります。この場合には、ポンプとトランスマッタをこれらの機器から遠ざけるか、機器の電源を切ってください。この干渉により誤ったデータが送信されることはありません。
6. センサによる一時停止機能やグルコースアラート機能はセンサグルコース値に基づいて作動します。センサと血糖値の乖離を防ぎ、機能を正しく動作させるため、センサの装着部位の注意点および装着方法(P. 7~18)に注意してください。
7. トランスマッタの電池切れやセンサ信号が受信できない場合、センサによる一時停止機能やグルコースアラート機能は作動しません。通信の回復が難しい場合は、定期的にポンプの注入状態及び血糖値を確認してください。
8. センサを装着している時に、アセトアミノフェン(パラセタモール)が含まれる薬剤(解熱剤、風邪薬など)

リアルタイムCGM使用時の重要な注意事項

重要!
チェック

を服用すると、センサグルコース値が誤って上昇することがあります。

その程度には、服用量や個人差があります。低血糖を防ぐために、血糖値を測定し治療を決定するようにしてください。

9. ヒドロキシカルバミド又はヒドロキシウレアが含まれる薬剤(癌などの治療薬)を服用すると、血糖値に対してセンサグルコース値が高く測定されるため、CGMによるグルコースモニタを行わず、必ず血糖自己測定により血糖値をモニタしてください。
10. 緊急事態の対処方法をあらかじめ主治医と決めておいてください。
11. 低血糖・高血糖など体調に異変があった場合、ただちに医療機関へご連絡ください。(お出かけの際には緊急情報カードなどご自身が糖尿病であることが証明できるものをご持参ください。)

安全、快適に使用するために

サービスの登録をしましよう

チェック!



My PUMP ご登録方法

ポンプをご使用中のすべてのユーザーにご登録いただき、製品を安全にお使いいただくための情報提供を行うサービスです。

- ・製品を安全にお使いいただくための情報を受け取ることができます。
- ・取扱い説明書やよくある質問などのお役立ち情報を閲覧することができます。
- ・連絡先などの登録情報はご自身でも変更ができます。

〈ご注意〉

- ・ご登録にはメールアドレスが必要です。

ご登録内容・ご用意いただくもの

- インスリンポンプ本体・トランスマッタのシリアルナンバー
- お名前、住所、生年月日(任意)
- メールアドレス*、電話番号

*18歳未満の方の登録には法定代理人の同意及びお名前とメールアドレスも必要です。

シリアルナンバーはインスリンポンプ本体よりご確認いただけます。

620G / 640G :ステータスバー(ホーム画面) >>ポンプ/センサ

770G :メニュー>>ステータス>>ポンプ/センサ



1 MyPUMP登録サイト にアクセス



所要時間
5分～10分

2 MyPUMP登録サイトで必要事項と メールアドレスの入力

メールによる情報配信を受けるには、個人情報利用目的の同意とメールアドレスの入力が必須となります。

MyPUMPユーザー登録
使用に関する注意喚起 必須

□ 医師の処方、指示及び本機器の取扱説明書に従って本機器を使用して定期的に医師の診断を受けます。

□ 本機器の使用を中心とする場合は、医師または医療機関に連絡します。また医師の指導のもと、本機器の操作を中止する場合、または医師もしくは代理店から求められた場合は、速やかに本機器を医師に返却してください場合があることをご了承ください。

□ 本機器は医療機関からの貸与品であることを理解し、紛失や盗難にあった場合は、速やかに医療機関に連絡します。この場合は医療機関、販売代理店、及びメドトロニック日本支社に連絡をおねがいします。

同意いただけない場合はアップグレードができませんのでご注意ください

同意しない

emailアドレス

入力後に送付されるメール内URLより情報登録をお願いします。
ログイン時ユーザーIDとして使用します

次のステップに進む

3 メール本文に表示されたログインページ URLからマイページにアクセス

メールで送信された登録サイトのURLにアクセスし、サイトの表示に沿って、必要事項の同意、個人情報入力、パスワードを設定してください。

シリアル番号のご入力ありがとうございます。
以下のURLにアクセスし、本登録をお願いいたします。

◆本登録ページURL
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

※上記URLの有効期間が60分間です。期間内に登録手続きを行ってください。

※本メールはシステムからの自動送信メールです。

安全、快適に使用するために

サービスの登録をしましょう



ポンプやCGMをより安全に、より快適にご使用いただくためのサービスを提供しています。ポンプ・CGMの使用を開始したら、速やかに以下のすべてのサービスに登録しましょう。登録が済んだらチェックボックスにチェックを入れ、登録漏れのないように確認してください。

チェック!



LINE公式アカウント



- LINE配信
製品・安全情報をタイムリーにお届けします。メニューで簡単に操作いただけます。



チェック!



ポンプアクセサリーショップ



- オシャレな商品だけでなく、胸元や足等にポンプを装着いただける機能的な商品などをご用意しております。多彩なカラーバリエーションからお選びください。
- アカウントを作成の上ご注文いただくと、商品をご指定のご住所へお届けします。

※アカウント作成には、ポンプのシリアル番号が必要です。



もっと便利に! CGMを使いこなそう

Memo

お困りのときは



医療機関連絡先：

- ・高血糖や低血糖など体調に異変がある場合
- ・インスリン量の調整など治療に関する相談が必要な場合
- ・患者さんやご家族による対処が困難な場合
- ・故障や破損、付属品が足りなくなった場合（ご注文や発送依頼）



日本メドトロニック24時間サポートライン：**0120-56-32-56**

（24時間365日）

- ・ポンプの使用方法や、アラート、アラーム対応などでお困りの場合

コール ミニ コール



センサ・一部付属品故障受付

専用サイト



- ・センサや一部付属品が故障した際に、自宅等などご指定の住所に交換品をお届けするサービスです。
- 専用ウェブサイトで受付ております。

対象製品：ガーディアン4センサ、ポンプクリップ、アクティビティガード、バッテリーカバー



MyPUMP（マイポンプ）に必ずご登録ください



- ・製品を安全にお使いいただくための情報提供を行うサービスです



LINE公式アカウント



- ・製品・安全情報をタイムリーにお届けします。
- メニューで簡単に操作いただけます。

Medtronic

日本メドトロニック株式会社

ダイアビーティス

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

販売名：メドトロニック ミニメド 700シリーズ 医療機器承認番号:30300BZX00256000
販売名：メドトロニック ガーディアン コネクト 医療機器承認番号:22900BZX00321000

ポンプ
アクセサリーショップのご紹介
[https://www.medtronic.com/
pumpshoppt](https://www.medtronic.com/pumpshoppt)

